WEEKLY ロータリーを繋げよう 週報 No. 2096

# 鹿児島中央ロータリークラブ

世界に希望を生み出そう

令和６年３月４日　第2123回例会

1977年1月10日創立

2023～2024年度 国際ロータリー会長　ゴードンR・マッキナリー

●会　長　高岡　和也　●副会長　下村　哲也　●幹　事　栫 浩多郎　●編　集　広報・雑誌・IT委員会（公共イメージ）

四つのテスト　言行はこれに照らしてから ❶ 真実かどうか ❷ みんなに公平か ❸ 好意と友情を深めるか ❹ みんなのためになるかどうか

**本日のプログラム**　ゲスト卓話＝米山記念奨学生　グエン ティ トウ 様

**3月**　水と衛生月間

前回例会出席率 71.42%

## 会長の時間

高岡　和也

**テーマ：「生成 AI（ジェネレーティブ AI）について」**

以前、会長の時間で ChatGPT のお話をしましたがその続編になります。最近でも、おなじサービスを提供している OpenAI は 2/15 にテキストから動画を生成できる新たな生成 AI モデル「Sora」を発表して話題になりました。

弊社 IHJ のビジネスパートナーのソフトバンクもこの生成 AI 技術に力をいれており、すでに様々な業務で生成 AI の活用を始めています。お客様からの問合せ窓口対応や会議資料の作成などに利用されています。我がクラブの宮里会員も、実は画像生成 AI アーティスト yukimiya として活動されており、先日は鶴丸小学校で生成 AI を使ったイラストの出張授業をされたとお聞きしました。3/30. 31 にもセンテラス 4 階図書館で展示会をされるそうです。

おさらいになりますが、生成 AI とはジェネレーティブ AI とも呼ばれ、学習済みのデータを活用してオリジナルデータを生成する AI を指します。近年、生成 AI は世界中で注目を集めており、テキスト生成 AI の「ChatGPT」や画像生成 AI の「DALL・E（ダリ）」や音声生成 AI の「Voicebox」をはじめとした多種多様な生成 AI がビジネスシーンや日常生活で活用され始めています。

**生成 AI を活用するメリット**

①新しいアイデアの創出

新しいデザインや音楽、映像、を自動的に生成することができます。これにより効率的に多様なアイデアを生み出すことができます。

②顧客との関係強化

ユーザーの好みやデータを学習し、個別に適したコンテンツや製品を生成します。これにより顧客エンゲージメントを高め、お客様ごとに質の高いサービスを提供できます。

③コスト削減と自動化

一部の仕事を自動化できます。例えば、データ収集やプレゼン資料の作成などを自動的に行い、担当者の労力を節約できます。

④外国語学習や翻訳ができます。生成 AI は世界中の言語を理解しているので、翻訳も簡単にできます。

おはようを英語で言うには？と命令すると「Good Morning !!」と教えてくれたり、日本語の敬語では、例えば「お客様が来た」を敬語にして。と命令すると「お客様が参りました」と教えてくれます。

このように生成 AI は、個人の生活にとってもビジネスにおいても無限の可能性を秘めている最新技術になります。ただ、これにはリスクも沢山あり犯罪など悪用される可能性もあります。実際に、法整備が追いつかない状況もあります。人間と AI がうまく共存できる世の中になっていくことを期待します。

最後に、実際に CHATGPT にいくつか質問をして回答してもらおうと思います。

1. 高岡Q：大谷翔平のような選手になる為にはどうしたらよいですか？

   GPT：大谷翔平選手のような選手になるためには、以下の要素が重要となります：

○トレーニング：大谷選手は、デッドリフト、有酸素運動、バーベルランジ＆スクワットなどのトレーニングを行っています。これらのトレーニングは、筋力を向上させ、体のバランスを保つために重要です。

○食事管理：大谷選手は、高タンパク＆低脂質な食事を一日 7 回に分けて約 4500 キロカロリー摂取しています。これは、体を大きくし、筋肉を増やすために必要なエネルギーを提供します。

○目標設定：大谷選手は、自身の目標を明確に設定し、それに向けて地道に行動を起こし、継続しています。目標設定は、自己の成長と進歩を促すために重要です。

○人間性と運：大谷選手は、「運」「人間性」といった無形のものの大切さを理解しています。これらの要素は、選手としてのパフォーマンスだけでなく、チームメイトやコーチとの関係性を築く上でも重要です。

これらの要素を総合的に考慮し、自分自身の能力と目標に合わせて取り組むことが、大谷翔平選手のような選手になるための一歩となります。

2. 高岡 Q：鹿児島中央ロータリークラブの新ビジョンに相応しい一文を考えてください。

   GPT：「鹿児島中央ロータリークラブは、地域の絆を深め、多様性を尊重し、持続可能な未来を創造するために、一人ひとりが力を合わせて行動します。」

「鹿児島中央ロータリークラブは、地域の課題に対して革新的な解決策を提供し、全てのメンバーがリーダーシップを発揮して、持続可能な地域社会の実現に貢献します。」

「鹿児島中央ロータリークラブは、地域の繁栄と持続可能性を追求し、革新的な思考と行動で、鹿児島の未来を形成します。」

例会場 山形屋７Ｆ社交室　例会日 毎週月曜日　事務局 〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5F TEL.099(223)9366・FAX.099(239)3504　メール kchuorc@bi.wakwak.com　ホームページ http://kagoshimachuo-rc.jp/

## 年男年頭所感

下　隆治

昭和 39 年 9 月 16 日生まれで今年還暦を迎えます。妻一人、子どもは一姫二太郎で、ひとりの孫は 1 歳半になりました。

1995 年にロータリー財団 GSE の一員として、29 歳の時に米バージニア州に約 1 カ月滞在し勉強させてもらいました。2730 地区と 7600 地区の交換留学で、数か所ホームステイをして、約 20 か所のロータリークラブの朝例会、夜例会、そして地区大会にも参加させていただきました。当時、日本では電子新聞元年といわれた頃ですが、アメリカは日常生活に電子新聞が既に存在し、また、大学も遠隔授業に取り組み、遠隔医療も含め、ネット環境が既に整っているという印象でした。バージニアンパイロット社、ニューヨークタイムス社も訪問して新聞事情を勉強させてもらいました。約 30 年前このような勉強の機会をいただいたロータリークラブに恩返しができるよう、今後も尽力いたします。

2024 年は十干十二支では「甲辰」。甲は甲乙丙丁の最初で物事の始まり、辰は植物が成長するようにどんどん勢いを増すという意味があり、「成功という芽が成長し、昨年まで努力してきたことが実を結ぶ」といった縁起のいい甲辰です。年頭には大地震、痛ましい飛行機事故がありましたが、これからは穏やかで活気に満ちた一年になるよう願っています。

連続出席表彰（５年）

## スマイル・ボックス

**●本坊　修さん**／連続出席有難当ございます。竹添さんと同じく連続出席ですが、お互いにもうそろそろ辞めましょうと云う事になりましたので今年で連続出席も終わりです。

**●松元　まやさん**／今度３月３日に名山町にカフェバーをオープンすることになりました。１日よりゆるく開けております。すぐ近くですのでコーヒーでもお酒でも飲みに是非お立寄り下さいませ。

**●志賀　啓一さん**／誕生祝ありがとうございます。いつも出席できず申し訳ありません。

**●宮里　幸彦さん**／私事ですが、合同会社 Oblique（オブリーク）を設立しました。通信費の見直しや、生成 AI を活用したイラストをだし、アーティストとして活動をしております。ここまでこれたのも皆様のおかげです。見直しのご用命ありましたら、ぜひ宮里まで !!

2月26日のスマイル　小計 13,000円　2023～2024年度　累計 670,527円

第2122回例会記録　2月26日(月)

ロータリーソング：「我等の生業」
職業宣言唱和：５・６
食事：「百万ドル食事」・「本日の演奏」
会長の時間：高岡　和也会長
会務報告：栫　浩多郎幹事
１）本日の配布　①週報
２）RYLA のご案内（詳細掲示）
　4/13（土）～14（日）
　会場：かせだ交流センターさんぱる
　参加資格：各クラブから推薦され、宿泊できる青年（18～30 歳まで）及びロータリアン、ローターアクト
　締切 3/7（木）
３）学習会・ラウンドテーブル（2/22FAX 済み）
　3/25（月）18：30～　於：グランセレッソ鹿児島きずな
　担当：交流委員会
４）次週　3/4（月）　例会プログラム「米山記念奨学生卓話」
　定例理事会開催　例会終了後　社交室にて
出席報告：出席委員会　連続出席表彰→本坊　修さん（５年）
スマイルボックス：親睦委員会
卓話：「年男　年頭所感」
丸元　貞夫さん、重久　善一さん、下　隆治さん

**次回例会**　令和６年３月 11 日（月）

情報集会報告

| 出席率 | 会員数 | 出席数 | 出席報告 |
|---|---|---|---|
| 第2122回例会 | 52名 | 35名 | 71.42% |
| 前々回（2月9日）の補正 | 52名 | 41名 | 83.67% |

**本日の曲目**：早春賦、アメージンググレイス、白鳥　　**演奏：入来慶子**

## 年男年頭所感

### 「人生最後の年男として」

**海江田　順三郎**

昭和３年生まれで満 95 才（４月で 96 才）になる私にとって今年は最後の年男の年になりました。10 回目の年男になる年令は 108 才ですからとても無理です。そこでこの機会に過ぎ越して来た人生を総括させて頂きます。一生を三分割して先ず①学園関係から始めます。

今も西本願寺鹿児島別院内にあります竜谷学園の和光幼稚園に通った３年間は残念ながら泣き虫のいじめられっ子でした。小学校は現在名山小学校の場所にあった県立女子師範附属小学校（女子師範は戦後に男子師範と合併して鹿大教育学部になる）で低学年の頃までは体が弱く風邪を引いては欠席していました。日中戦争（当時は日支事変と呼称）が始まると剣道や柔道の高段者の先生が高学年の担任になり、冬でもパンツ一枚の裸に裸足で学校周辺の街路を走り回るなどスパルタ教育を受けたお陰で、ようやく人並みの体になりました。私の生家は祖父の頃から米や雑穀、黒糖などの卸業を営んでいましたので長男の私は、早く家業が継げられるように市立の鹿児島商業に入学させられました。所が入学した年に太平洋戦争（当時の大東亜戦争）が起こり、初戦の大戦果に国民が酔う間もなく段々と戦況は不利になり、鹿商は市立の工業学校に転換されました。鹿商から官立の長崎高商（現長崎大学経済学部）への進学を望んでいた私は、時代の変化に応じて、陸士、海兵など軍の幹部学校への受験を志しました。折良く二中（現甲南高校）が商業からの転入試験を認めましたので下級生２名と受験し、一学年下の学年に転入を許されました。

二中４年の時、陸軍士官学校が予科から進級する航空科を中等学校から直接採用する方針に切り変えたので、後にノーベル賞を受賞した赤崎勇氏などと二次試験まで受験しましたが 10 月入校の前に８月の終戦となり、軍人への志望は閉ざされたました。終戦後の七高入試に赤崎氏は４年終了の飛び級で七高に合格しましたが、私は５年卒業後、やっとのことで旧制最後の七高に入りこむことが出来ました。このように私たちの学園期は戦争や戦後の学制改革で翻弄させられましたが、鹿商から二中へ転入した際に担任のＨ教師から「ここは天下の県立二中だ、君は余程頑張らないと落第するぞ」と戒められた言葉と、七高受験前に町でお会いした鹿商時代のＫ先生に「七高も学制改革で入学試験が来年までらしいが、君なら大丈夫。きっと合格するよ」と元気づけられた言葉が、困難な事に当ったり、弱気になったりした時に思い出す発奮の金言になりました。人生第２期の「職業関係」は大学卒業と同時に始めた倉庫業でした。祖父が起した卸業は戦時中の食糧管理法により官営化されていましたが、幸い帝国倉庫鹿児島支店に貸していた石垣倉庫が戦災を免れましたので、これを利用して営業倉庫の会社を設立しました、当時倉庫協会の会長をされていた大津倉庫の大津篤造社長には以後 JC、経済同友会、ロータリーと公私共にご指導を頂くことになりました。大阪の繊維会社に就職していた二番目の弟が会社の倒産で帰省し倉庫会社に加わった頃、高島屋の会長でありました家内の父より、百貨店の仕事を手伝って欲しいと言うことで、家内の兄に代わり、東京銀座の松屋に百貨店の見習社員となるため家内と共に上京しました。一般に日本の主要な百貨店の経営者は慶応出身者が主流と言われていましたが、松屋には帝大会があり、社長が東北大、専務が東大と旧帝大卒の役員や社員が珍しくなく、私も憚りながら、入会を許され、時折に古屋徳兵衛社長のご謦咳に接する機会に恵まれました。「百貨店は世の中の進展に半歩だけ前を進めば良い、遅れてもいけないが進み過ぎてもいけない」と教えられました。

三年の東京生活後に帰省して大見高島屋に席を置きましたが、山形屋さん、丸屋さんの売場面積拡張に反し、電車通り側アーケードの部分を車道拡張のため除去された大見高島屋は売場面積の減少を来たし業界の進展に２歩も３歩も遅れを取り、図らずも百貨店から専門店ビルへの業態変身を余儀なくされました。このような曲折を経て都心再開発のプロジェクトに組み込まれ、センテラスとして余命をつなぎ得たのは幸運であったと感謝いたす次第であります。

第３の「社交関係」は先輩方から継承した会合や団体の他、自らの好みや趣味でのお付き合いなど、さまざまでありますが、最も重要な関係は毎週参加するロータリークラブではないかと改めて確認いたします。ロータリークラブは本質的には社交クラブですからその原則上会員は皆その権利、義務において完全に平等であります。しかし単なる社交クラブに止まらず会員相互の親睦のエネルギーを奉仕活動に振り向けて、世界の恒久平和と全人類の福祉を恒久目標に、夫々のクラブや会員個人が主体的に奉仕の実践に努め、人格陶冶の面でも東京ロータリークラブの創始者米山梅吉が主唱した通り「ロータリーこそ人生の道場」です。それにしても私など高齢者が何時までも在籍して平均年令を高めていることを、誠に申し訳なく存じますがロータリーの寛容の精神で何とぞお許し頂くことをお願い申し上げます。

**林　幸一郎**

歳男所感で何を話せばいいか、考えていた時に、やはり、この話をすべきかと思いましたのは、年始早々起こった能登半島地震です。当社および建設業界の話をさせていただきます。

弊社グループの理念として、『人が生き生きとする環境を創造する』があるのですが、人々が安心して生活できるように支えていくことが、我々ゼネコンに社会から求められている使命だと思っています。１月１日の地震では、国からの指示によって、すぐに社員や業者さんのチームを組んで現地に向かっています。被災地域では、自分自身や家族を守ることが第一優先です。当然、当社の社員もいるわけですが、被災地以外の地域に住んでいる社員などが出動して災害復旧を行います。

弊社は、珠洲市と輪島市に渡る国道２４９号線という海岸線やトンネルの復旧や、飲み水の確保のための浄水場の復旧を優先して行っています。約１５０人のスタッフが被害の小さかった金沢の支店を拠点として、そこから片道４時間程度をかけて現場に向かって作業を行っています。４時間を掛けて拠点へ帰ることもあれば、車内泊で滞在し続ける場合もあるとのことです。１月末の時点ではある程度、道路の復旧も進んでいるようですが、特に海岸線の道路は、急な斜面での大規模ながけ崩れが伴ったものであり、二次災害が起きないように慎重に行われています。２０１１年３月に発生した東日本大震災の時は、特に人員を掛けるが必要であった福島第一原発の復旧に、ここ鹿児島から出向いた社員もいました。これが我々の業界の実態であります。

こういった実体験を通し、起こってほしくないものの、いつ起こるかわからない災害に向けて対応策などを考えておくべきであり、それが弊社、業界に求められることです。日本列島が他の地域と比べても災害が起こりやすい場所に位置していることもありますが、様々な災害への対応策を検討するべきだと思っています。当然、政府や自治体等との連携も必要になります。

ここ鹿児島でも、当然、災害が起こる可能性もあります。１１０年前に起こった桜島の大噴火と同等の噴火が近々に発生する可能性が高いと言われています。当時の資料を読み解き、何ができるか。鹿児島地区は被災地になるわけで、被災地の人間がすぐに動くことはできません。また、火山灰を除去する機械なども被害を受けて動かせないかもしれません。そういったときに、他県から、どういった輸送体制で機器や機械を運ぶのか、どういった人員が必要なのか検討しておくことが必要になるでしょう。

最後になりますが、実際に起こった場合、まずは自分自身の安全確保が第一だと思っています。しかし、ここ鹿児島の皆様が、普通の生活に戻れるような復旧工事を早急に準備し実行すること、それこそが私の使命であり、そして、常日頃、ロータリーの意義でもある職業奉仕の一つであることを忘れずに、日々の業務を行っていきたい、そのことをこの場でお約束し、歳男の所感と致します。

### 「辰年」年男・年女について雑感

**丸元　貞夫**

私の生い立ちについて書きます。

父の仕事の都合もありまして、大阪市住吉区粉浜にて出生。４才の時、父の実家の山口県下関市川棚に移住、７歳の時、下関市川棚吉田小入学、小２の夏、鹿児島市山下小に転校。その後、甲東中を経て S34 年３月玉龍高校卒業、S38 年３月京都大学経済学部を卒業、帰鹿し、現在に至って居ります。

我が家には「辰」が５匹？５頭も在りまして、非常に珍しいことかと思います。以下、「辰年」の例年の動きに関しまして、プライベートな面だけ述べさせてもらいます。

| | |
|---|---|
| 貞夫 | S15.4.30（1940） |
| マリ子 | S15.7.8（1940） |
| 婿 | S39.1.4（1964） |
| 嫁 | S51.5.7（1976） |
| 孫 | H24.3.2（2012） |

◎２巡目 (24 才時 )→Ｓ 39
　１月　娘婿（橋本真爾（シンジ））誕生
　４月　阪東機工㈱入社
　10 月　東京オリンピック開会・新幹線開通
　11/3　結婚式
　11/10　旭鉄工㈱設立
◎３巡目（36 才時）→Ｓ 51
　５月　息子嫁（由香（ユカ））誕生
◎４巡目 (48 才時）→Ｓ 63
　４月　娘（由紀子）大卒後帰鹿　ＭＢＣ入社
　７月　〃　見合い直後婚約内定。
　　父親として大ショック。翌年ジューンブライド
　10 月　鹿中央Ｒ・Ｃ入会　木村 11 代会長時
◎５巡目（60 才時）→西暦 2000
　鹿中央Ｒ・Ｃ第 24 代会長就任
◎６巡目（72 才時）→西暦 2012
　内孫（丸元寿馬（カズマ））誕生
◎７巡目（84 才時）→西暦 2024
　外孫（橋本謙太郎）４月結婚予定

### 年男年頭所感

**重久　善一**

今年で６回目の年男となります重久です。私は物心つく頃は鹿児島市の長田町に住んでいました。小さい頃は、冷水峠を荷馬車が通るのを見るものでした。戦後まもなくですので水道と電気は来ていましたが、ガスはなく風呂も五右衛門ぶろでした。戦後の高度経済成長の中で生活が豊かになるのを実感するものでした。三丁目の夕日という映画がありましたが、当時の様子はそのようでした。

高校の時に武町に引っ越してきまして高校に自転車通学をしていました。当時の高校はスパルタ高校で毎日教師に怒られるという生活でした。大学に行った後も何度も夢に見ることでした。

大学は東京の某私立大学に通いましたが当時新宿から渋谷までの国鉄が 20 円か 30 円の時代で渋谷のガード下には傷病兵の格好をした物乞いがいたのを覚えています。

大学時代は日吉に２年三田に２年通うことになりましたが、最初の年に学生運動でロックアウトされて授業がいつ再開されるか、わからないものですから駅の左が学校で右が雀荘だったので同級生同士集まっては麻雀をやる生活でした。この頃学生運動の生き残りが 70 歳を超えて世間をにぎわしていましたが当時の生き残りがいたんだと考えさせられました。

卒業後勉強をして今の職業に就いたのですが、当時の監査法人は規模が小さく比較的老舗の住友系の顧客が多い某監査法人に就職して東京から出張して北は北海道から南は福岡までを行ったり来たりするという生活をしておりました。それから鹿児島に帰ってきて現在に至るわけですが、当時はパソコンもなくそろばんか電卓の時代でワープロもない時代でしたので隔世の感があります。当時は外資系の監査法人も同じでしてパソコンで仕事をするというのは想像外でした。

考えますに、時代がどんなに進んでも、テクノロジーがどんなに進んでも基本的なことは一緒ですので、原点を知らないと何もできないと思うことです。今後は次の年男を目指して先輩の後をついていこうと思っています。